

長野県建築士会 ちくしよ 佐久支部



佐久の札所

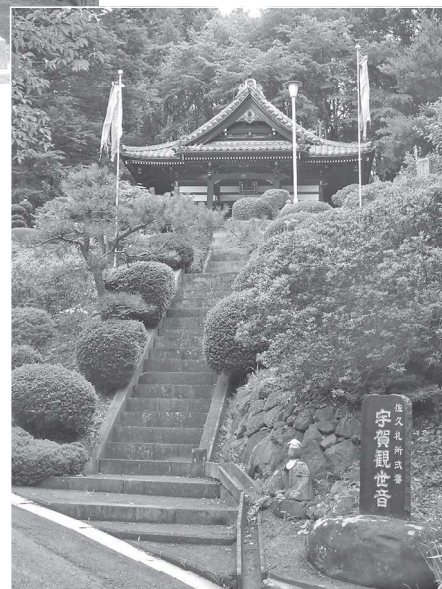
第2番札所 東漸寺

小諸市滋野甲671

当院は「宇賀山観音院東漸寺」と称し、宗派は天台宗である。

寺伝によれば、平安時代後期第三代天台座主慈覚大師圓仁が東国巡化の折に開基したと伝えられている。

境内には「六地藏」「関東大震災慰霊塔」珍しいと言われる「石造三重の塔」市指定の保存木「銀杏の木」など見所が多い。



支部長あいさつ	2
建築課長あいさつ	3
佐久支部協議会	4~5
事業中間報告	6
委員会活動について	7~10
新年講演会	10~11
特別寄稿	12~13
着任挨拶	13
賛助会員の紹介	14~15
事務局より	16

モクジ

ご挨拶

(一社) 長野県建築士会佐久支部

支部長 荻原 白



盛夏の候、会員の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

私は皆さま方の温かいご支援とご協力により支部長を務めさせて頂く

こと4年目となりました。本年もどうぞよろしくお願い致します。

長野県建築士会は平成25年度一般社団法人に移行時から将来「公益社団法人」を目指す方針でした。下記が5月28日の総会にて承認された平成28年度の重点事業です。

1. 公益社団法人を目指した検討と公益活動の推進（社会貢献・景観整備機構）
2. 災害支援体制の対応・強化・ネットワーク防災の研究
3. 支部のあり方研究と組織統合の検討・推進
4. 多彩な研修活動の企画と実施（ハリージェマナー養成講座・信州木造塾・各種講習会）
5. 活気ある建築士会活動の発信（建築士フォーラム・青年女性建築士の集い・建築士セッション）

佐久支部では、上記6事業を基本に『夢のある建築士会を目指して』本年も活発な活動を実践し本会及び他支部に強くアピールして行きます。昨年度は支部活動基金を取崩す事なく活発な支部活動が出来ましたが、本年は「第13回佐久地域建築賞」「第11回建築士ネットワーク2016」等を実施する為、貴重な支部活動基金の一部を取崩させて頂き活発な支部活動を

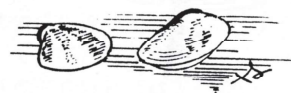
継続させる環境を整えていきますのでよろしくお願い致します。

昨年10月の第58回建築士会全国大会・石川大会で青年女性委員会の実践活動「まちづくりの変革に挑む～小諸のまちなみと市民の声～」が平成25年度実践活動・佐久穂まちなみと再考につづき、再び日本一の栄冠を勝ち取りました。支部青年女性委員の皆さまと活動を支えて頂いた多くの会員の皆さまに紙面をお借りして深く感謝申し上げます。佐久穂・小諸での実践活動が市民の皆さまに伝わり身近な『お宝』を再発見して夫々のまちづくりに、地域の皆さまとの交流連携を通してより良い郷土を創ることが大切だと改めて痛感しました。

4月に熊本で発生した巨大地震では、未だに混乱している状況に接すると本当に心が痛みます。佐久地域は活断層が無い？と言われますが、日本全土何時活断層が動くか全く解明されて無い状況下です。そんな中、平成28年度長野県総合防災訓練が10月2日（日）午前8時から午後1時に「佐久市白田総合運動公園」で開催されます。佐久支部が主となり《住宅応急危険度判定訓練》を実施します。応急危険度判定士の方々と支部会員皆さまには大勢参加して頂き、有事に即出動体制が確立できる様にしましょう。又、この機会に災害協定を締結している市・町の避難施設の位置及び協定内容の再整備等と連絡網のリハーサルを本年は実施します。

毎回同じですが、建築士会佐久支部が地域社会から求められ期待される様に皆で頑張っその成果として大きな《花》を咲かせたらどんなに素晴らしい事かと強く思っております。

会員の皆さま、本年も引続き《花も実もそして力もある》佐久支部にして行きましょう。



着任のご挨拶

長野県佐久地方事務所

建築課長 **荒城 功次**



4月から建築課長に着任いたしました荒城功次と申します。佐久地方事務所は、2回目の勤務となりますが、前回の課長補佐時代から3年しか経っていない

こともあり、会員の皆様もお変わりなく、引き続き仕事をしているような錯覚さえ感じております。現在は、須坂から新幹線通勤で、ほぼ定時に退社しておりますが、たまに、中込や佐久平で寄り道をしている状況です。

さて、最近の建築動向を示す新設住宅着工戸数ですが、平成27年度末、前年度比全国4.6%の増、県は増減なし、佐久管内は7.4%の増となりました。内容をみますと貸家が23.5%増で率を引き上げており、持家が0.2%増と微増のためか、景気回復の実感がまだ少ないように感じております。木造化率が約80%と、従来の90%超に比較して、木造離れが進んでいることも、大変気になるところです。

また、県では、耐震改修促進計画（第Ⅱ期）を策定、建築物の耐震化目標を住宅で90%、多数の者が利用する建築物で95%として、ハード・ソフトの両面から推進することとしております。具体的には、耐震診断経費の増額や、出張講座の開催、災害拠点施設の割増補強・吊り天井の落下防止を進めて行く予定です。佐久管内では、小諸警察の耐震補強（完了）、佐久

警察の建替え（工事中）、佐久合庁の割増補強（予定）などが行われています。

そして、震災対策では、応急危険度判定協定の推進、避難施設の把握と体制整備は喫緊の課題と考えております。市町村と建築士会佐久支部との応急危険度判定の協定は、4市町（小諸市、佐久市、御代田町、立科町）の締結のみとなっております。熊本地震でも、初動体制の遅れが問題となっていると聞いておりますので、建築士会の皆様の御協力を得ながら、締結の促進と、「締結済の自治体においても実行性の高い体制整備を進めたい」と考えております。皆様の御協力をお願い申し上げます。

佐久地方事務所は、県下で最も忙しい事務所と言われております。大規模な建築行為、建築許可、景観対策等相談件数も多く、今後は空き家対策も追加となることから、皆様にご迷惑をお掛けすることも、多々あるかと思っております。今後とも、課員一同協力して、「公正・公平で迅速に業務」を遂行するよう心掛けてまいりますので、御理解・御協力をお願い申し上げます。また、何かお気づきの点がございましたら私まで、お知らせをお願いします。

最後に、会員各位の益々の御発展をご祈念申し上げます。私からの挨拶に代えさせていただきます。



平成28年度 佐久支部協議会

平成27～28年度 一般社団法人 長野県建築士会佐久支部 委員会名簿

佐久支部第6回協議会が去る5月11日、佐久グランドホテルに於いて、盛大に開催されました。

委員会名簿の一部に変更がありました。各委員の氏名は下記のとおりです。

◎総務・企画委員会

担当副支部長	山口	副支部長
委員長	臼田 幸夫	(佐久)
副委員長	中島新八郎	(川西)
委員	清水 元旦	(小諸)
	菊池 弘之	(佐久)
	土屋 一男	(御代田・軽井沢)
	篠原 一男	(南佐久)

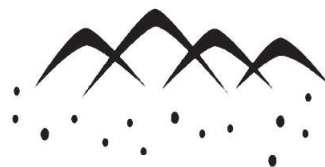


◎社会貢献委員会

担当副支部長	高橋	副支部長
委員長	吉澤 和彦	(佐久)
副委員長	山田 功	(御代田・軽井沢)
副委員長	高橋 厚志	(小諸)
委員	星野 武光	(佐久)
	油井 満夫	(南佐久)
	真嶋 和紀	(佐久)
	甘利佐賀男	(小諸)
	菊池 広美	(佐久)
	小林由美子	(佐久)
	高橋 美貴	(佐久)
	芋川 聡	(南佐久)
	小泉 正樹	(河西)

◎教育・事業委員会

担当副支部長	佐藤	副支部長
委員長	茂木 隆	(佐久)
副委員長	小平 稔	(佐久)
副委員長	古越 徳秋	(御代田・軽井沢)
委員	竹花 彰男	(佐久)
	小須田美一	(南佐久)
	小林 賢司	(小諸)



◎情報・広報委員会

担当副支部長 土屋 副支部長
 委員長 山浦 孝志 (小諸)
 副委員長 上原 明彦 (佐久)
 副委員長 飯沼 勝智 (川西)
 委員 大竹 雅英 (小諸)
 中里 忠雄 (御代田・軽井沢)
 櫻井 和也 (南佐久)
 真嶋 和紀 (佐久)
 小穴 久江 (小諸)
 荒井 央 (佐久)
 小林夕起男 (佐久)
 本田 典子 (南佐久)
 鈴木 繁之 (河西)
 阿部 義則 (佐久)
 下平 昭夫 (小諸)
 小林 清 (佐久)
 藤巻 宏康 (御代田・軽井沢)

◎青年・女性委員会

担当副支部長 赤尾 副支部長
 委員長 新津 輝秋 (佐久)
 副委員長 瀬下 緑 (佐久)
 副委員長 荒木 貴志 (小諸)
 委員 星野 武光 (佐久)
 真嶋 直行 (御代田・軽井沢)
 井出 正臣 (南佐久)
 重田 仁志 (川西)
 飯田 智 (佐久)
 新津加奈子 (小諸)
 片井 英治 (佐久)
 鎌田賢太郎 (佐久)
 佐藤 穂高 (佐久)
 星野 仁 (佐久)
 柳澤 洋介 (佐久)
 井野 勇志 (御代田・軽井沢)
 佐藤 成暁 (南佐久)
 高見澤 晃 (南佐久)
 小澤 由紀 (その他)
 小林 千恵 (御代田・軽井沢)
 齊藤 絵美 (小諸)
 他 4 5 歳以下の男性及び女性



◎交流委員会

担当副支部長 土屋 副支部長
 委員長 柏木 邦彦 (佐久)
 副委員長 大町 栄一 (川西)
 委員 大井 正広 (小諸)
 高地 菊男 (佐久)
 小佐波哲哉 (御代田・軽井沢)
 堀内 文雄 (南佐久)
 竹花 彰男 (佐久)

平成28年度 事業中間報告

月 日	行 事 名	場 所
3. 7～4. 1 1	二級・木造建築士試験申込用紙配布	
4. 1～5. 1 6	一級建築士試験申込用紙配布	
4. 8	第5回三役会	かつ栄
4. 1 2	県フォーラム実行委員会	長野県建築士会館
4. 1 6	伝統建築士による講演会及び新入会員歓迎会	かつ栄
4. 1 8	第1回教育事業委員会	野沢会館
4. 2 0	第4回三役会及び第6回幹事会	佐久ホテル
4. 2 6	県フォーラム実行委員会	大町合同庁舎
5. 9	第1回交流委員会	かつ栄
5. 9	県三役会	長野県建築士会館
5. 1 1	平成28年度支部協議会	佐久グランドホテル
5. 1 3	第2回教育事業委員会	野沢会館
5. 1 3	県三役会及び県理事会	ホテル国際21
5. 2 3	県総務情報委員会	長野県建築士会館
5. 2 5	第1回青年女性委員会	佐久平交流センター
5. 2 7	佐久市都市計画審議会	佐久市役所
5. 2 8	第66回通常総会	メルパルク長野
6. 1	県防災訓練全体会議	佐久市コスモホール
6. 2	第1回社会貢献委員会	佐久グランドホテル
6. 2	県青年女性委員会	長野県建築士会館
6. 7	空き家対策佐久地域連絡会議	佐久合同庁舎
6. 7	泉小学校景観授業	泉小学校
6. 7	泉地区・岸野地区花植え作業	R142号線沿い
6. 1 0	県三役会及び県理事会	ホテル国際21
6. 1 5	第1回三役会及び第1回幹事会	佐久ホテル
6. 1 5	県木造塾委員会	長野県建築士会館
6. 1 7～1 8	関プロ青年協山梨大会	山梨県
6. 2 1	佐久市都市計画審議会	佐久市役所
6. 2 2	県建築活動委員会	長野県建築士会館
6. 2 4	県社会貢献委員会	長野県建築士会館
6. 2 9	佐久木造住宅耐震推進協議会反省会	かつ栄
6. 2 9	県フォーラム実行委員会	長野県建築士会館

平成28年度 総務・企画委員会活動について

総務・企画委員長 臼田 幸夫

2期目の折返しになりますが本年度も引続き総務企画委員長を務めさせていただきますのでよろしくお願い致します。

昨年は、青年女性委員会の地域実践活動「まちづくりの変革に挑む」と題した小諸のまちづくり事業の活動が建築士全国大会において日本建築士連合会の最優秀賞を授賞しました。当委員会ではこの全国大会(石川大会)への応援ツアーの実施及び授賞報告会の企画、運営を手伝わせて頂きました。平成25年度の授賞に続き全国大会で2度の最優秀賞授賞の慶事に関わることができた事を青年女性委員会の皆さんに改めてお祝いとお礼を申し上げます。

2月に行われました新年講演会は建築家で東京大学名誉教授の内藤廣先生による講演でした。会員他の皆さんからの質問に答えるという珍しいスタイルの試みでしたが上田情報ビジネス専門学校の生徒の皆さんを含めて大変好評でした。今年度も第一線で活躍をされている方をお招きできたらと考えています。

総務企画委員会では会員相互の親睦を図り支部活動がより活発になり会員の増加につながるよう更に尽力致しますので今後とも宜しくお願いいたします。

すでに終了した活動もありますが今年度の主な活動は次の通りです。

1. 東信ブロック会員ゴルフコンペ
壇科支部担当 (7月5日)
2. 三団体ゴルフコンペ
事務所協会担当 (9月上旬)
3. 新年講演会の開催 (平成29年2月予定)

上記活動の他に今年度は支部役員と本会の代議員の改選の年です。支部の役員改選では選考委員会の設置「臨時協議会」の開催、及び代議員が選挙になった場合は総務企画委員会がお手伝いとなります。滞り無く勧められますよう会員の皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い致します。

平成28年度 教育・事業委員会活動について

教育・事業委員長 茂木 隆

日頃より会員及び賛助会員の方々には当委員会の活動に際し、ご理解と御協力を戴き誠にありがとうございます。

当委員会の活動の一つには、年5回程の実務講習会の開催を目標に賛助会員の方々を主に計画しており、各社に御協力を依頼をしているところでございます。

此のころの主流であった省エネ関連の法改正に依る手続きや資格制度等の講習がひと段落し、これからの講習会をどうしようかと模索しているところでございます。

引き続き賛助会員の方々にも随時参加と御協力を戴ける様お願いする共に、設計関係のみならず施工・管理関係等も併せて計画して参りますので、こんな講習内容はできるかとかの御意見・御要望等も戴ければ幸いに思います。

もう一つが、2年毎に開催しております佐久地域建築文化賞の開催です。

昨年がその開催年でしたが、運営上の都合により開催に至りませんでした。本年度は一年遅れで第13回として開催することになりました。

此の事業も出品数や出品者数等の問題も多く、応募依頼に苦慮している所ではありますが、応募期間等の調整をする事や申し込み期限を早め、早目に応募状況を把握する等に依りより多くの作品を応募して戴ける体制をとれる様検討しております。

毎回応募して下さる方々に感謝を申し上げると共に、一度は応募してみようかと考えておられる方や躊躇されている方、是非とも御参加をお願い申し上げます。

以上が本年度の事業目標とする活動ですが、それぞれ難題の多い事業です。会員、賛助会員の皆様方には更なるご理解を戴き活動して参りたいと考えておりますので、是非とも御協力をお願い申し上げます。

平成28年度 社会貢献委員会の活動について

社会貢献委員長 吉澤 和彦

昨年度は、当委員会の事業に大勢の会員の皆様にご協力頂きまして、ありがとうございました。

本年度も、引続き委員長を務めさせていただきます。よろしくお願い致します。

当委員会では、メイン事業のひとつとなっていますウッドクラフトを、イオン佐久平様をお借りして本年も実施します。

会員の皆様に、当日のお手伝い等、事前の加工準備等もお願いをして、社会貢献委員会のみならず、建築士会佐久支部の一大イベントとして行なって行きたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願い致します。

近年日本の災害事情を考えますと、いつ・どこで・どんな災害が発生してもおかしくない現状です。当委員会の担当となっています

- 応急危険度判定士の連絡網の整備
- 災害協定を結んでいる市町村との避難施設・場所等の見直し
- 連絡網を使用してのリーハーサル

等、本年度事業は山積となっています。

又、県の防災訓練が10月2日（日）佐久が会場となっておりますので、委員会を上げて協力したいと思っています。

以上の様に、行事等を予定しています。会員の皆様の大勢のご参加をお願い致します。



平成28年度 情報広報委員会の活動について

情報広報委員長 山浦 孝志

委員会活動は、会報「ちくま」の年2回の発行及び佐久支部ホームページの活用充実と大きく分けて2つの活動です。

会報「ちくま」の表紙写真、【佐久の札所】シリーズは今回発刊される55号の東漸寺で2件目となります。

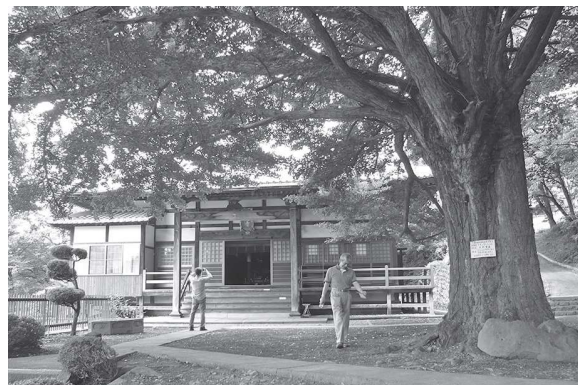
表紙写真をNo. 41号から【佐久の蔵元】に変更して、酒蔵シリーズの掲載をスタートし、No. 53号で佐久地域13酒蔵全ての掲載を完了しました。

No. 54号より、昨年委員会で決定した新シリーズの【佐久の札所】に変更し、佐久三十三番札所の第一番札所釈尊寺より掲載をスタートしました。

今回の55号では第二番札所東漸寺を掲載することになります。

編集委員で写真撮影と取材にお邪魔させていただくのですが、毎回快く受け入れて下さり、本当にありがたく思います。

佐久三十三番札所の中には、建造物が無い所もあるそうなので、酒蔵シリーズのように全てを掲載するのは難しいかもしれません。会報の表紙写真として可能であるかを判断しながら撮影を行っていきたいと思います。



また支部会報「ちくま」は会員の方々の協力で成り立っています。より良い内容にするためにも皆さんの協力が必要です。これからも原稿依頼のお願いには快く受け付けて下さいますようお願いいたします。

委員の皆さんと楽しみながら委員会活動を行っていきたいと思います。

平成28年度 交流委員会の活動について

交流委員長 柏木 邦彦

本年も、引き続き委員長を務めさせていただきます。宜しく願い申し上げます。

平成27年度は、8月29日のソフトボールが雨天中止、建築士ネットワークもなく、あまり成果を上げることができなかったように思われる一年ではありましたが、委員長最後の年、頑張っ

て努めたいと思います。先ごろ開かれた委員会にて今年度の活動計画を下記のように計画いたしました。

1. 親睦ソフトボール大会

平成28年8月20日(土)午前8時～

臼田運動公園

2. 建築士ネットワーク・2016

平成28年10月29日(土)午後2時～

ベルウィン小諸

3. 賛助会員との交流

日時 検討中

4. レジェンド会員との交流

日時 検討中

建築士ネットワークにて表彰等

4のレジェンド会員との交流に関しまして、広く会員の皆様の声をお聞かせいただき、交流を図りたいと考えております。

今まで以上のご指導、ご協力、ご参加を宜しくお願い申し上げます。



平成28年度 青年女性委員会の活動について

青年女性委員長 新津 輝秋

青年女性委員会では平成28年度事業として、4月16日には新規会員歓迎会と平成27年度建築士合格者の祝賀会を実施。信州伝統大工であり、佐久地域の魅力を「デザイン」で伝える団体“D-39”のメンバーであるカタイケンヂさんを招いての講演会を同時に開催しました。

又、6月には毎年恒例となりました、「佐久南インター景観をつくる会」としての、佐久市泉地区及び岸野地区での国道沿いの空きマスへの花植え作業の実施と、佐久市立泉小学校6年生児童に向けた景観授業を行いました。当日は、多くの士会会員の方にご協力いただき、無事作業を終了させることができました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

平成26年度からの継続して実施している小諸の地域財産の発掘活動につきましては、昨年度に引き続き小諸市大久保の氷地区に焦点を当てた活動を行っていきます。氷地区の風穴群は現在、各方面で注目を集める存在となりつつあります。佐久市岩村田の土屋酒造さんが今年の5月から現在も利用されている風穴に日本酒を貯蔵し、風穴で醸造した日本酒として販売する計画や小諸市のガイド協会や上田市の風穴の調査・保存に関わっている団体の視察などが行われており、今後更に歴史的に価値のある場所として再認識される事と感じています。

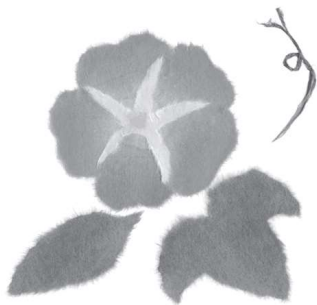
現在、氷地区ではこのような状況を踏まえ、風穴保存のための委員会が設立されたのですが、地域住民の高齢化・住民の減少などの原因によ

り地区による活動自体が滞っているのが現状です。風穴が存在する森への手入れも行き届いていないため、倒木や落ち葉が積み重なり、広葉樹を主体とする自然景観と、人口的に積み上げられた石積みによって形成される魅力ある空間も色あせて見える状態となっています。



風穴群の取り扱いや活用方法を考えるのと同時に、実際にこの森を訪れた人に風穴群をあるべき姿で見てもらえるように7月に風穴群周辺のクリーン作業を計画しています。

風穴自体は個人の所有物であるものもあり、建築士会としてどのように関わっていくかは模索状態ではあります。氷地区の区長さんはじめ風穴の保存委員会と良好な関係を今後も保ち、今後の在り方を考えていきたいと感じています。



新年講演会

建築家
内藤 廣先生の
講演をきいて

高橋 美貴

2月10日の内藤 廣先生の講演をお聞きする事ができ、うれしく思っております。

安曇野の「いわさきちひろ美術館」に何度か行く事があり、大好きなちひろの世界をゆっくりと観られる、この様な空間を用意できるのはどの様な方かと想っておりました。お話をうかがいながら、ああやっぱり…でした。



先生の優しいお人柄、大事になさっている事、筋の通ったお考えが、お話のはしばしに感じられました。

会員、学生の質問に本当に丁寧にお答えして下さり、まじめな方なのだと感じました。「5つの質問に答えます」が18もの質問になりま

したが、いやな顔もせずに分かりやすく答えて下さいました。

学生さんの質問の中に、建築の魅力は？というものがありました。いろいろな人と会う、幅広い知識が必要な不思議な仕事だからと、おっしゃっていました。

建築に携わっている私達は技術職と思っていますが、ある意味接客業かもしれません。施主の方あっての仕事ですし、知識、技術を共有するために多くの方々と協力し、又、私などは多くの方々に教えていただかなければ、仕事が進みません。

建築の知識のみでなく、気候・風土はもちろん、時には、お施主様の趣味の分野にまで広がっていきます。日々法律は変わっていきますし、それらを苦と感じている私ですが、先生はそれを魅力と感じていらっしゃる……。

又、建築をやろうと思った瞬間が、お嬢様が「海の美術館」の中を歩いた時、大きくなった時に伝わりと想えた時、と答えていらっしゃいました。

いつもいつやめようかと考えて、もう〇〇年が経過してしまいましたが、やはり住宅が仕上がり、住み始めた住まいの中でお客様がその空間の主となっていた時、私の手から離れ、お客様の家となった時、やはり幸せを感じ、また機会を与えられたら、頑張ろうと思ってしまいます。

先生は住宅が一番むずかしいとお答えしてました。村野藤吾先生が88才の時に一度でよいかからちゃんと住宅の設計がしたいとおっしゃったと、引合いに出しておられましたが、住宅の



設計を主な仕事としている私には耳の痛いお話しでした。「その人が一生暮らす場所」本当にそのとおりです。先生の「空間、スペース、場所をつくる。形ではない。」肝に銘じてあと何年か仕事ができたらいいです。

先生のお話は本当に心にしみるものでした。「いのちと建築」「人間と建築」たくさんの事を考えさせていただきました。

本当にありがとうございました。



特別寄稿

雨上がりのひと時に

長野県建築士会名誉会長 出澤 潔



静かに降っていた雨が、ようやく探し当てた「夢の庭画廊」の入り口に立った頃には樹々の葉の滴となっていた。

初めて訪れたこの画廊は雨上りの滴が重なる樹々と様々な草花に包まれていた。入り口から展示棟までのやや長いアプローチには雨を含んだ草花が遠慮がちに葉を払げ、露を含んだ薔薇の花びらが仄暗い空気の中で黄色に輝いていたのだった。

その朝早く私は女神湖近くにあるY先生の山荘に向かっていた。途中で「今日は上田のご自宅の約束ではなかったらどうか」と気が付き、11時に上田でと約束をし直したのだった。

その間の時間をどうしようかと思いついたのがF先生の作品展だった。近いうちに拝見したいと思っただけにラッキー！と声を上げ、早速カーナビのお世話になりこの画廊にたどり着いたのだった。

木煉瓦が敷き詰められた入口は心の中まで穏やかにしてくれる。展示室の扉を恐るおそる開けると、見慣れた先生の作品が私を迎えてくれた。あまり大きくはない展示室には絵画や美術館の事を静かに話し合っている画廊主と知人らしき人の他には誰もいない。ちょっと気になるその話声は、いつの間にか絵に見入る私の耳から遠くなっていた。

目に入った事物をそのまま描こうとせず、そうした事物から受けた心象を画面に落とし、そこに生まれた形とスペースを色彩のハーモニー

で構成された作品達は詩情に溢れ音楽さえも感じるようだった。

画廊の奥様が用意して下さったお茶を戴き外に出た時、言葉では表せない豊かさを感じ至福の時とはこういう時を言うのだろうかと思ってしまうのだった。千住博氏は「伝えることが難しいと思われるイメージーションを伝えようとする時の感動が美だ」と述べているが、「美が生きている感動を与えてくれた」のかも知れない。

「夢の庭画廊」を後にして上田に向かう道は雨上りの日曜日のせいにか心なし静かだった。民家風の建物がPostOfficeと刻まれた銀色の銘板を掲げているのを見て、車を停める。そして「建築と景観」「建築の意味」などを考えている自分に気が付き、先程までの自分とは違った自分を発見して嫌な奴だなと思ってしまうのだった。

比較的新しい集落の住居群の中にある民家風の郵便局の姿をどう受け止めたらよいのだろうか。見たところそれ程古い建物ではなさそうだ。塩田平という地域性がこの姿を創ったのだろうか。画一的で制服を着た一団のような住居群の中で郵便局は一人浮いているようにも見える。建物の姿は何から生まれるのだろうか。

昨年ヘリテージマネージャー養成のための講座が建築士会に設けられ、60名のヘリマネが誕生した。地域に遺され伝えられる遺産を見直し、保存すると同時にその活用を図ってまちづくり

に貢献することがヘリマネの社会的役割であると教えられた。こうした事の大切さは十分判っている中で、大切な遺産が次々と消えていく現実は何故なのだろうか。

私は遺された建物に新しい生命を与えることが、建築士としてのヘリマネの一番大切な役目だろうと考えている。

人は建物に何を求めているのだろうか。きっと自分達のよりよい生活のための器としての建物であって欲しいと思っているに違いない。その実現のために生まれてくる建物には明確な機能が与えられ、そうした期待の中で誕生が待たれるのだ。人々の祝福を受けて誕生した建物は、与えられた機能を果たせなくなった時生命を失い消えていく。

新しい生命を与えるという事はその時代、更に未来の私達の生活のための機能を与えることに他ならない。建物が持つ機能には様々ある。豊かな生活のための機能、地域の思い出としての機能、歴史的意味での機能、学術的意味での機能などなど。

そうして与えられた生命とそこから生まれる姿、そして私達が持つ見慣れたまちなみの記憶など、これらを私達はどう結び付けたらよいのだろうか。



着任挨拶

着任のご挨拶

宮澤 文夫

この度の人事異動で佐久地方事務所建築課に着任しました宮澤文夫と申します。佐久支部の皆様よろしくお祈いします。

佐久地域に赴任するのは初めてでございますが、長野県の中でも特に建築が活発な地域であり、この地域の建築行政を所管していく責任と同時に、地域が変化していく様を確認できることを楽しみにしております。

また、浅間山、八ヶ岳、秩父山系に囲まれた佐久盆地の雄大な自然景観と、旧中山道、北国街道の宿場町の名残残す歴史的な街並みもあり、私自身も佐久市内に生活しながら、その自然、文化を堪能していきたいと考えております。

さて、最近の建築行政を振り返りますと、平成26年度の建築基準法の大幅な改正により、構造計算適合性判定の合理化、木造3階建て学校の建築を可能とする木造に係る建築規制の合理化などが施行されたところであり、今年度は定期調査検査制度の見直しが施行されることになっております。

また関連する建築関係法令についても、改正された福祉のまちづくり条例による上乗せ基準がこの12月から、建築物省エネルギー法については大規模非住宅建築物に係るエネルギー消費性能基準が平成29年4月から建築確認の審査事項となるなど、建築規制行政に係る大きな変動期となっております。

これらの改正に円滑に対応できるよう、講習会を開催するなど皆様と一緒に勉強し指導して参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお祈いします。

賛助会員の紹介

畑八開発株式会社

長野県建築士会佐久支部の皆様には、平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は、おかげさまで昭和26年の創業より65年間、地域の皆様方に助けられながら今まで事業を続けることができました。

長い歴史を振り返ってみると、それぞれの時代に、その時代に必要な社会的要請や地域の皆様からのニーズがありました。それらの課題にひとつひとつ対応してきた結果が、今日の弊社の姿になったということだと思っています。

創業当時は、戦争の結果荒廃した日本の国土やインフラをいかに早く復興させるかという課題が、弊社の目の前にありました。すべての産業を隆盛させるために、社会資本の整備は欠かせないものであります。ヒトやモノや情報の流通をスムーズに行うことによる経済的メリットは、今も昔も変わりません。弊社は、幹線道路や橋の整備に力を注ぎました。また、人々が快適に安心して暮らすための上下水道整備、個人住宅や公共施設の建設、災害を未然に防ぐための河川改修や砂防ダム建設などにも力を注いでまいりました。

そして、現在の弊社の最重要課題が、社会

に欠かせない産業である建設業をしっかりと次世代に引継ぐことでもあります。長年培われてきた現場の品質管理・施工管理技術を若手社員に引継ぐため、社内でのOJTはもちろん、外部講習や資格取得のための教育（費用は会社負担）を積極的に行っています。建設業の担い手がなくなり困るのは、弊社だけではなく、国であり国民も同じなのです。

建設業の仕事は社会的重要性だけでなく、やりがいと魅力にあふれています。その魅力をご理解いただき、有志の若者にぜひ入社していただきたいと思っています。長野県建築士会佐久支部会員の方で、お知り合いに若い方がおりましたら、ぜひ建設業への入職を働きかけていただければ幸いです。



賛助会員の紹介

株式会社 カネト

- 地域密着
- 新しい事への挑戦
- 確かな配送力・施工力
- 安心できるサポート力
- コスト提供
- 在庫力
- 社員平均年齢31.5歳の若い力

これが、弊社の自信あるサービスです。

住宅や大型建築における『建材・設備』『サッシ』『環境商品(太陽光発電システムや省エネ設備、エコ建材)』『木構造のプレカット』『各種専門工事』これらを通して建築士会の皆様には日頃よりお世話になっております。

特に昨年開設した木構造プレカット事業部、ZEHなどへの対応、グリーン化事情等各種申請へのサポート体制、多様なムク材の在庫対応などご好評いただいております。

さて、我々が主に活躍している新設住宅の着工数は今後減少の一途をたどっていきます。そして公共商業施設やリノベーション、

付加価値のあるサービスこれらが大切なポイントの一つになり、まさしく建築士会の皆様との連携強化がますます重要になると考えております。

おかげさまで、弊社は本社小海店、軽井沢店、上田店、長野店の4店舗 73名の体制となり来年度に創立70周年を迎えます。これはみなさまのご支援の賜物と心より感謝しております。特色のあるこだわりのサービスを提供する為に社員一同より精進してまいります。今後ともご指導の程、よろしくお願いたします。

本社 小海店：0267-92-2501

軽井沢店：0267-32-8001

上田店：0268-21-0777

長野店：026-222-5822

KRONOTEX
FLOORS FOR LIVING

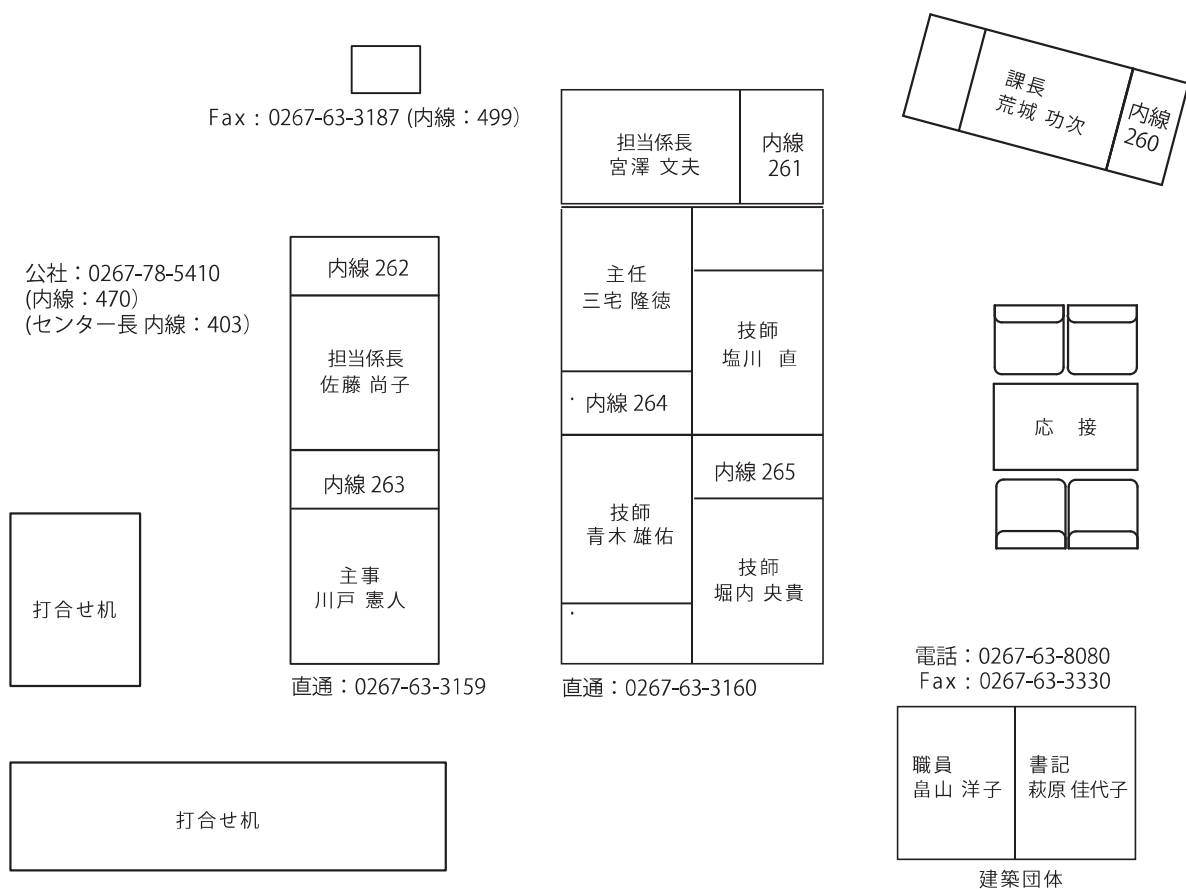
広巾「こだわりの素材感」高耐久「Good Design」
made in Germany のフローリング

国内在庫は現在4シリーズ14アイテム。
医院(フロア)施工や稼着施工が可能で、住宅や店舗など多様な施設で意匠性の高い空間を演出します。
「床暖房」「土足」にも対応可能で、新築はもちろんリノベーションにも最適です。

シリーズ	厚さ	幅	長さ	重量	入数	面積	等級
MAMMUT マムート	12mm	193mm	1945mm	1.94kg/箱	8箱/箱	1.5117㎡/箱	AC5
AMAZONE アマゾン	10mm	193mm	1900mm	1.90kg/箱	9箱/箱	1.320㎡/箱	AC5
EXQUISIT エクワイジット	8mm	193mm	1900mm	1.90kg/箱	9箱/箱	2.1316㎡/箱	AC4
DYNAMIC ダイナミック	8mm	193mm	1900mm	1.90kg/箱	9箱/箱	2.1316㎡/箱	AC4

クロノテックスジャパン株式会社
〒381-0024 長野県長野市南長巻280-8 TEL 026-267-0311 FAX 026-267-0312
Mail info@kronotex.jp http://kronotex.jp

建築課配置図



● 編集後記 ●

「ちくま」の表紙写真を「佐久の札所シリーズ」に変更して第2回目になります。

取材に同行した幾人ものカメラマンの力作の中から最も良い写真を選び出し採用します。

カラー写真の状態で選定するので、選定時点の写真は迫力見応え等かなりのものがあります。表紙写真がカラーでないのがとても残念！

会報の内容で、お気づきの点等ご意見ご感想をお寄せください。

会報『ちくま』第55号 2016/7
 発行者 (一社)長野県建築士会 佐久支部
 情報広報委員会
 事務局 〒385-8533 佐久市跡部65-1
 佐久地方事務所内
 TEL 0267-63-8080
 FAX 0267-63-3330
 E-mail:ken8080@seagreen.ocn.ne.jp
 支部HP <http://www.aba-saku.com/>
 印刷所 プリントショップ コスモス
 TEL 0267-54-8010



は平成29年1月中旬予定です。